

保育科学研究

第2卷（2011年度）

社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

発刊にあたって

日本保育協会保育科学研究所の平成23年度の研究成果をまとめた「保育科学研究」第2巻を発刊いたします。このたびの研究は、昨年度と同様に研究所運営委員会において協議し、承認された6件を掲載しています。内容は、継続研究3件と、新規研究3件からなっておりますが、この研究要旨については研究所が年3回発行している「研究所だより」第8号で紹介しております。

また、平成24年度の研究については、運営委員会において6件の研究テーマが承認され、研究が開始されています。この研究要旨については「研究所だより」で紹介する予定です。

平成22年度の研究成果については、昨年（平成23年）第1回学術集会を開催し、発表とシンポジウム等を行いました。また、「研究所だより」第9号に概要を掲載しました。なお、これらの研究所の発行物は日本保育協会のホームページ「保育科学研究所」からご覧いただけます。

さらに、研究所の新たな動きとして平成23年12月19日に開催された研究所運営委員会において研究所の「研究会員」を設けることが決まりました。これは、平成24年度から研究所細則の一部改正により、これまでの研究員（非常勤）とは別に「研究会員」を募り、より広い立場からの研究者の参加を促すことになったものです。

これまでの日本保育協会会員以外の、大学、行政、児童福祉施設の関係者等で個人に限定し、研究所の運営委員会の承認を得て研究活動に参加いただく機会を広げることとなりました。もちろん、日本保育協会会員の皆様は従来どおり日本保育協会が主催するすべての事業に参加が可能です。

今後とも保育科学研究所は、日本の乳幼児保育の向上を願い、保育実践・研究の各分野でご活躍の皆様の参加を得て、保育科学研究充実のために尽くしたいと思います。よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

日本保育協会保育科学研究所長

巷野 悟郎

目 次

発刊にあたって (巷野悟郎)

研究論文

災害時の保育園の危機対応に関する研究 (石井博子).....	1
保育所長の保育所運営に係る意識に関する研究 (石川昭義)	33
人材確保・育成に関する保育士養成校と 保育所の連携に関する研究 (三浦修子)	66
乳幼児期の『保育所保育の必要性』に関する研究 (坂崎隆浩)	74
障害乳幼児と家族への支援に活かす ムーブメント教育の実践分析に関する研究 (飯村敦子).....	116
保育所給食業務に関する研究 (岡林一枝).....	125

(資 料)

日本保育協会保育科学研究所細則	160
日本保育協会保育科学研究所運営委員会	162

